

2024年3月期 決算・会社説明会

2024年5月23日

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社

証券コード：9686



池田 博之（いけだ ひろゆき）

1960年10月9日生まれ（63歳）

1983年3月 横浜国立大学経営学部卒業

1983年4月 大和銀行(現 りそな銀行) 入行

2018年3月 りそな銀行 副会長

2018年5月 (一社)関西経済同友会 代表幹事

2020年6月 東洋テック株式会社

代表取締役社長（現職）

| | | | |
|----------|-----------------------|-------|-----------|
| 1 | 会社概要・事業概要 | | 3 |
| 2 | 東洋テックの特徴・強み | | 12 |
| 3 | 2024年3月期 決算の概要 | | 17 |
| 4 | 中期経営計画の進捗状況 | | 22 |
| 5 | 対処すべき課題と今後の取組み | | 26 |

1. 会社概要・事業概要



警備とビル管理の会社

- ・ 関西初の警備会社
- ・ 関西唯一の上場警備会社
- ・ 銀行が作った警備会社

| | |
|----------------|---|
| 本社所在地 | 大阪市浪速区桜川一丁目7番18号 |
| 設立 | 1966年1月5日 |
| 資本金 | 46億18百万円 |
| 事業内容 | 警備事業…………… 機械警備業務、輸送警備業務、常駐警備業務、 ATM管理業務、工事・機器販売、ホームセキュリティ ビル管理事業… ビル総合管理、清掃業務 不動産事業…………… 不動産賃貸業務、不動産仲介業務、不動産販売業務 |
| 株式 売上高 | 東京証券取引所スタンダード市場上場 コード番号 (9686) 312億円 (2024年3月連結実績) |
| 従業員数 グループ会社 | 1,953名 (連結) 他、臨時従業員数1,907名 (2024年3月時点) (株)東警サービス、東洋テック姫路(株)、 東洋テックビルサービス(株)、テック不動産(株)、五大テック(株) アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・セキュリティサービス(株) (福知山)、 アムス・シークレットサービス(株) ※アムスグループは2024年5月に子会社化 |

- 1966年 1月 東洋警備保障(株) (現 東洋テック(株)) を設立
福德相互銀行を設立母体とし、創業に賛同出資した企業の多くも金融系
- 1967年 2月 機械警備業務を開始
- 1968年 2月 輸送警備業務を開始
- 1980年 5月 金融機関のキャッシュサービスコーナーの自動運行管理業務を開始
- 1982年 9月 CD総合管理を行うATM管理業務を開始
- 1988年 4月 東洋警備保障(株)から東洋テック(株)に社名を変更
- 1990年 12月 大阪証券取引所市場二部に上場
- 2001年 9月 関西電力(株)、日本パナユーズ(株)とホームセキュリティ共同会社
「(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」 (関電SOS) 設立
- 2002年 6月 関電SOSのホームセキュリティサービスを開始
- 2013年 7月 東京証券取引所市場第二部に移行
- 2022年 4月 東京証券取引所スタンダード市場に移行
グループ会社 東洋テックビルサービス(株)設立
- 2022年 5月 五大テック株式会社 (本店：大阪市) を当社の関係会社とする
- 2023年 4月 清掃会社2社を東洋テックビルサービス及び東洋テック姫路に統合
- 2024年 5月 アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・セキュリティサービス(株) (福知山)、
アムス・シークレットサービス(株)を当社の関係会社とする

会社の株式に関する事項

大株主上位 10 社（自己株式 767,766 株除く）

2024.3.31時点

| 順位 | 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|----|---|-------------|--------|
| 1 | セコム株式会社 | 2,914,100 株 | 27.3 % |
| 2 | 関西電力株式会社 | 1,535,900 株 | 14.4 % |
| 3 | 株式会社ディー・ケイ | 455,000 株 | 4.3 % |
| 4 | 株式会社日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・ 株式会社関西みらい銀行退職給付信託口) | 451,090 株 | 4.2 % |
| 5 | 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) | 425,950 株 | 4.0 % |
| 6 | 株式会社りそな銀行 | 400,000 株 | 3.7 % |
| 7 | 東洋テック従業員持株会 | 359,943 株 | 3.4 % |
| 8 | A I G 損害保険株式会社 | 335,210 株 | 3.1 % |
| 9 | 株式会社ユニテックス | 263,000 株 | 2.5 % |
| 10 | セントラル警備保障株式会社 | 241,700 株 | 2.3 % |
| | 合 計 | 7,381,893 株 | 69.2 % |

(注)持株比率は、自己株式（767,766株）を控除して計算しています。

また、小数点 2 位を四捨五入して表示しています。

株式数

| | |
|---------|--------------|
| 発行する株式数 | 20,800,000 株 |
| 発行済株式数 | 11,440,000 株 |
| 自己株式数 | 767,766 株 |
| 一単元の株式数 | 100 株 |

株主数

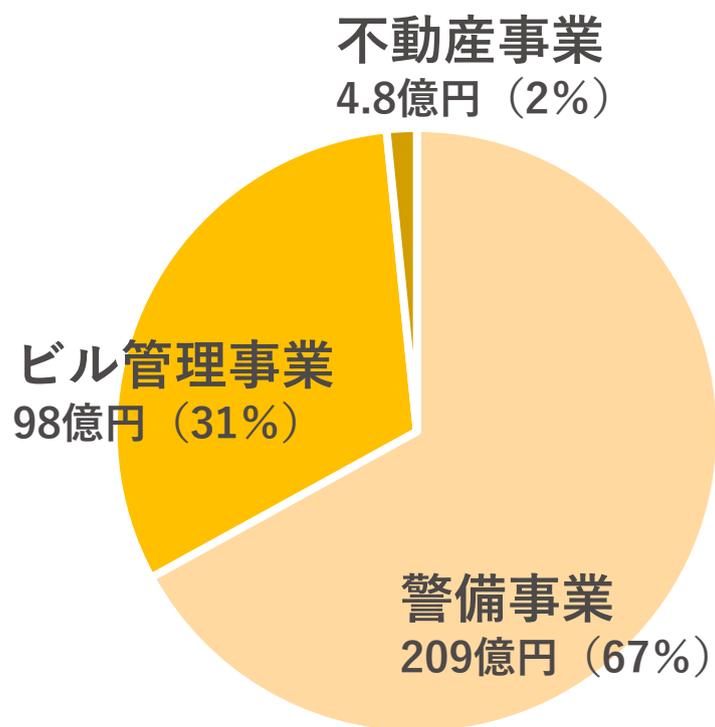
| | |
|-------|---------|
| 株主数 | 1,875 名 |
| 個人株主数 | 1,445 名 |
| 単元株主数 | 1,569 名 |

株主数増減(対前年度末比)

| | |
|-------|--------|
| 株主数 | +241 名 |
| 個人株主数 | +171 名 |
| 単元株主数 | +180 名 |

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・株式会社関西みらい銀行退職給付信託口)
⇒株式会社関西みらい銀行が、
保有当社株式を退職給付信託に信託

< 2024年3月期売上高 >



警備事業

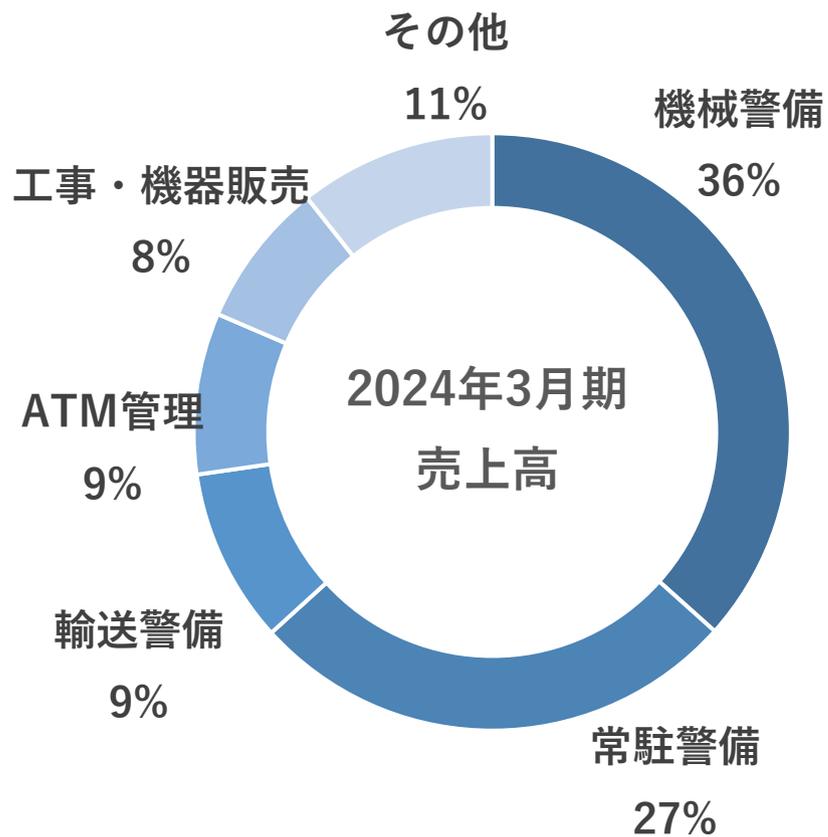
ビル管理事業

不動産事業

東洋テック
東警サービス
東洋テック姫路
五大テック

東洋テックビルサービス

テック不動産



機械警備



常駐警備



輸送警備



ATM管理



建物に関するあらゆる業務をフルサポート！

- ✓大規模修繕
- ✓消防設備点検
- ✓エレベーター設備点検
- ✓給水設備点検
- ✓建物の日常清掃、定期清掃 等

日常清掃・定期清掃



設備管理・点検・改修



■ 賃貸業務

収益不動産投資 計7件

オフィス 1件



住宅 3件



ホテル 1件



商業施設 2件



■ 仲介業務

売主



仲介手数料



仲介手数料

買主

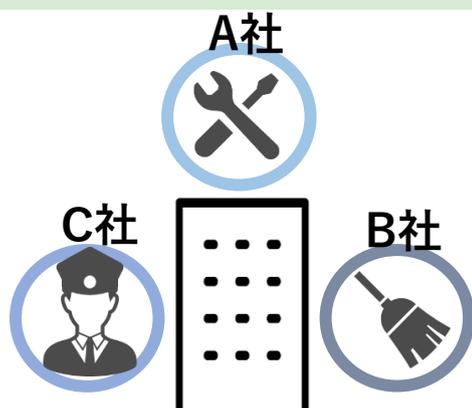


- 不動産情報を早期取得。
- 他社に先駆けビル管理を一括して受託する為のアプローチを行う。

2. 東洋テックの特徴・強み

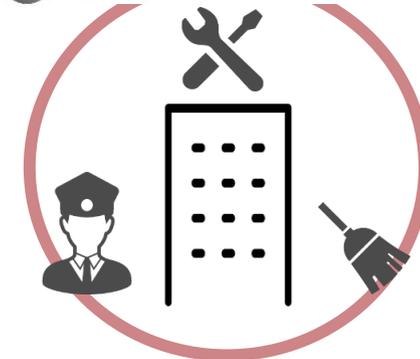
- 警備からビル管理(設備管理・修繕・点検・清掃ほか)まで一括して任せられる “総合ビル管理会社”

ビル1棟を東洋テックグループで一括管理



- ・業務効率化
- ・コスト削減

東洋テックグループ



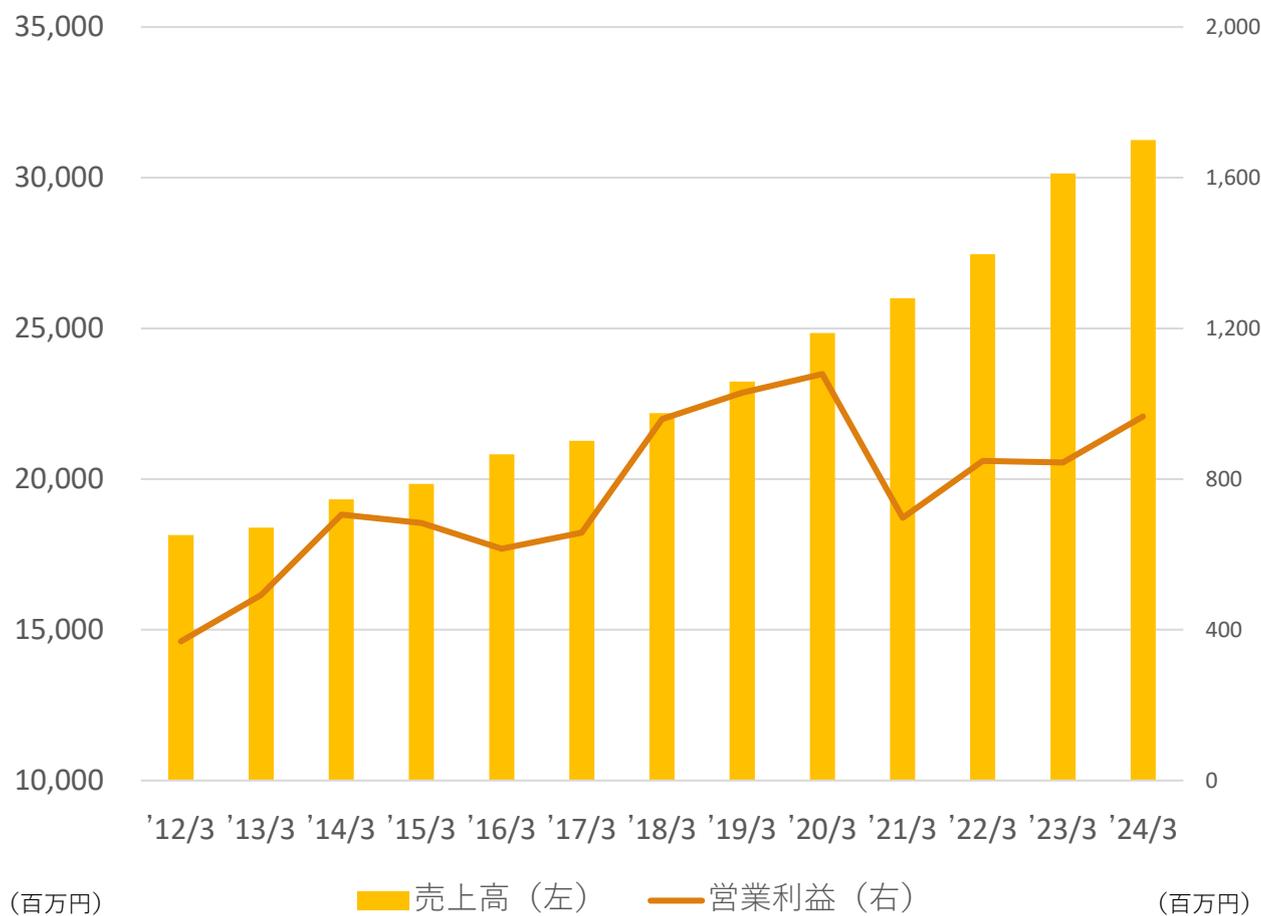
| | ビル管理会社 A社 | 清掃会社 B社 | 警備会社 C社 |
|-------|--------------|------------|------------|
| 警備 | × | × | ○ |
| 設備管理他 | ○ | × | × |
| 清掃 | ○ | ○ | × |

当社グループ

- 東洋テック
東警サービス
東洋テック姫路
五大テック
- 東洋テックビルサービス
- 東洋テックビルサービス

- 創業以来、営業利益・経常利益は黒字を確保。
- 警備事業や清掃業務はストックビジネスであり、安定した業績。

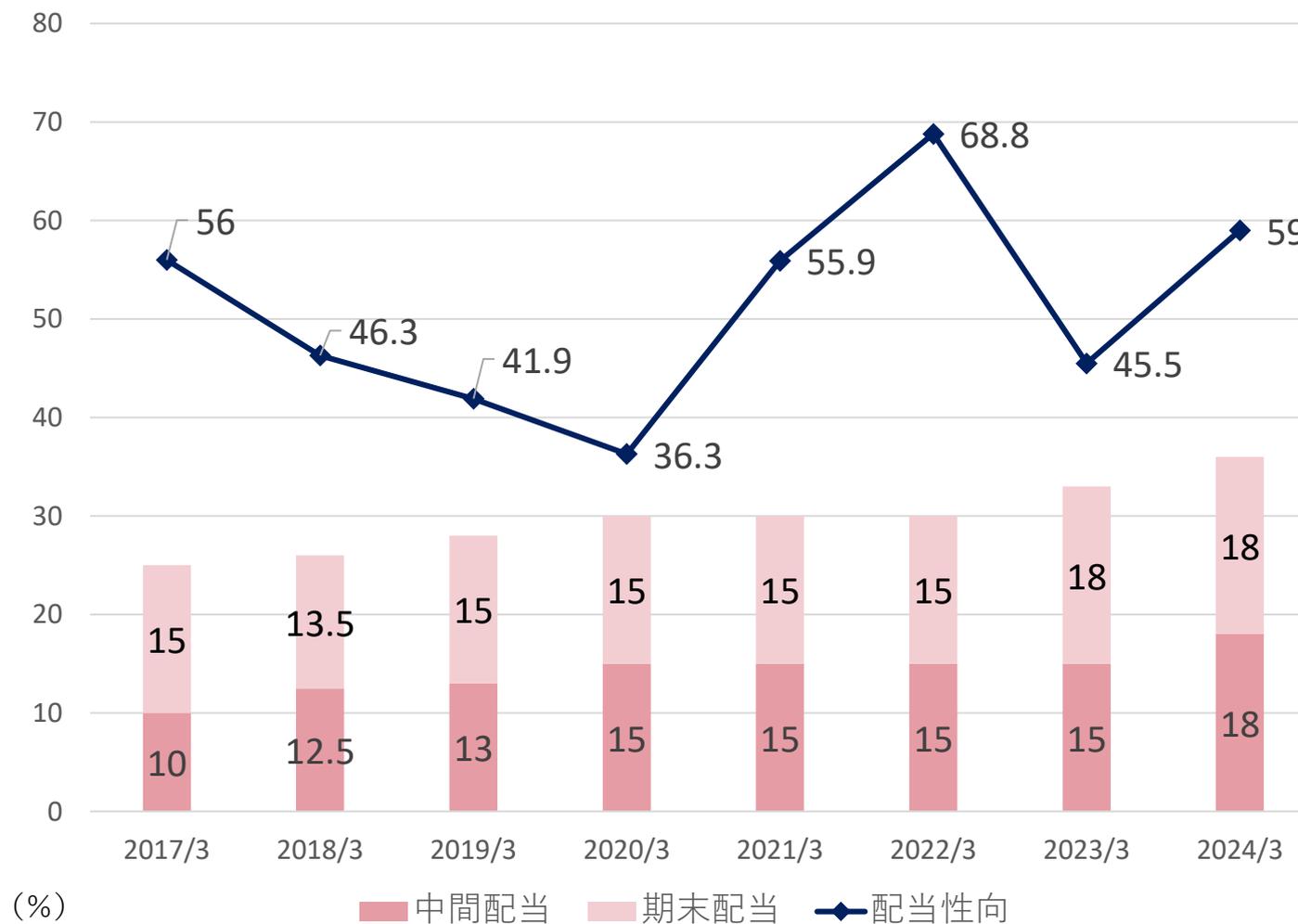
売上高・営業利益推移



創業以来
黒字

13期
連続増収

- 配当方針：配当性向50%を目途に安定配当。
業績に連動した配当を目指します。



株主優待制度の新設

対象となる株主様

毎年 **3 月末日現在の株主名簿** に記載または記録された **500 株以上** の当社株式を保有されている株主様。

株主優待の内容

保有株式数に応じて優待ポイントを進呈いたします。
株主様限定の特設ウェブサイトに掲載されている商品からお好みの商品をお選びいただけます。



50,000 point ~ (2,500株~) の対象優待商品例



<日本のおいしいお料理>
伊勢海老和洋割烹料理5種9食

<スガモト>
松坂牛 霜ろース まき焼き・しゃぶしゃぶ
用 各725g

<ビクトリノックス>
エアロックスグローブIIキャリーオン
ラック
W40×D20×H55cm容量：33L

<シャーク>
Shark EVOPOWER SYSTEM STD+
コードレススティッククリーナー
CS1503AE

| 保有株式数 | 進呈ポイント数 | 進呈時期 |
|-------------------|----------|------|
| 500 株 ~ 599 株 | 5,000 P | 5月下旬 |
| 600 株 ~ 699 株 | 7,000 P | |
| 700 株 ~ 799 株 | 9,000 P | |
| 800 株 ~ 899 株 | 11,000 P | |
| 900 株 ~ 999 株 | 13,000 P | |
| 1,000 株 ~ 1,499 株 | 15,000 P | |
| 1,500 株 ~ 1,999 株 | 25,000 P | |
| 2,000 株 ~ 2,499 株 | 35,000 P | |
| 2,500 株 以上 | 50,000 P | |

制度の開始時期

2024 年 3 月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として開始いたします。

3. 2024年3月期 決算の概要

- 2024年3月期は、値上げへの取組み強化、組織体制整備完了等により前期比増収、営業利益・計上利益ベースで増益。
- 公表計画値に対しては、ビル管理事業の収益性改善の遅延、不動産事業における大口案件の期ずれにより売上・利益とも未達。

| (単位：百万円・%) | 2023年3月 実績 | 2024年3月 実績 | 前年度比 | 2024年3月 公表数値 | 公表対比 |
|---------------------|---------------|---------------|------------------|-----------------|-------|
| 売上高 | 30,139 | 31,249 | 1,110 +3.7% | 31,500 | 99.2% |
| 営業利益 | 844 | 966 | 121 +14.4% | 1,200 | 80.5% |
| 経常利益 | 964 | 1063 | 99 +10.3% | 1,250 | 85.1% |
| 親会社に帰属する 当期純利益 | 741 | 626 | △115 -15.6% | 750 | 83.5% |
| 1株当たり 当期純利益(円・銭) | 72.6 | 60.98 | △11.62 -16.0% | 73.40 | — |

セグメント別売上高及びセグメント利益の概要

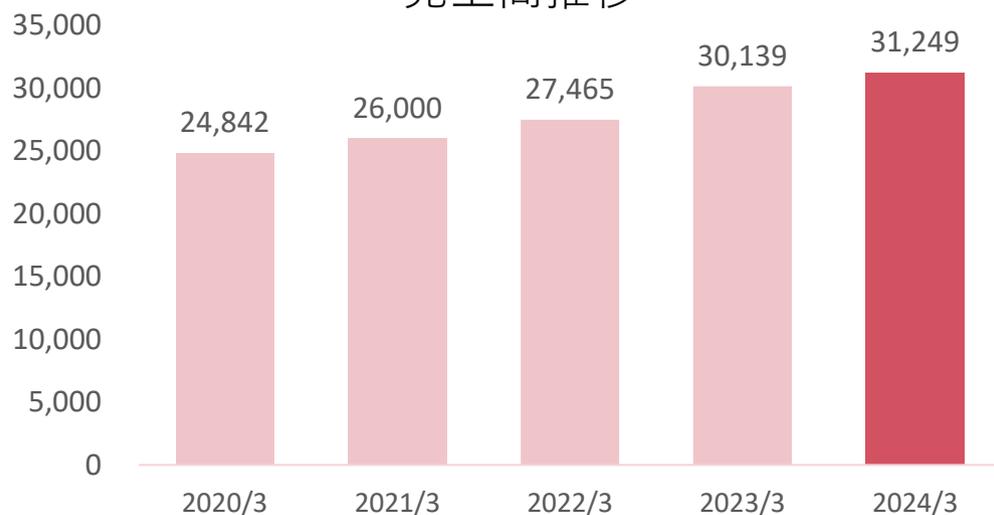
- 警備事業 値上げ効果、新規受注が好調で増収増益。
- ビル管理事業 東洋テックとの協働により増収増益となるも、値上げ対応・内製化等の遅れにより利益面は伸び悩み。
- 不動産事業 大口案件の期ずれにより前期比大幅な減収減益。

| (単位：百万円) | 2023年3月 実績 | | | 2024年3月 実績 | | | 前年度比 | | |
|----------|------------|---------|---------|------------|---------|---------|-------|---------|---------|
| | 売上 | 構成比 (%) | セグメント利益 | 売上 | 構成比 (%) | セグメント利益 | 売上 | 増減率 (%) | セグメント利益 |
| 警備事業 | 19,802 | 66 | 459 | 20,940 | 67 | 718 | 1,137 | 6 | 258 |
| ビル管理事業 | 8,909 | 30 | 89 | 9,820 | 31 | 160 | 911 | 10 | 70 |
| 不動産事業 | 1,426 | 5 | 282 | 488 | 2 | 91 | △938 | △65.8 | △191 |
| 調整額 | — | — | 12 | — | — | △3 | — | — | △16 |
| 合計 | 30,139 | 100 | 844 | 31,249 | 100 | 966 | 1,110 | 4 | 121 |

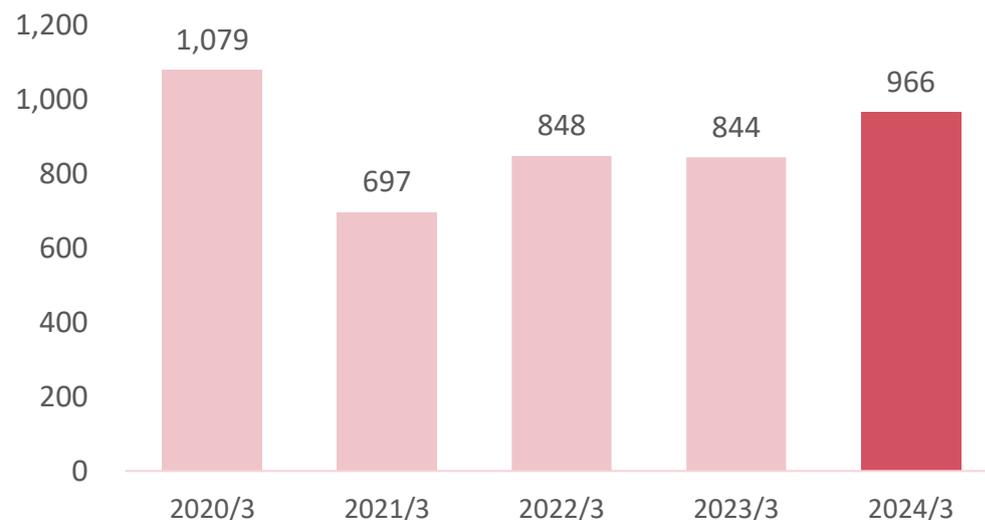
(注)セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものです。

（単位：百万円）

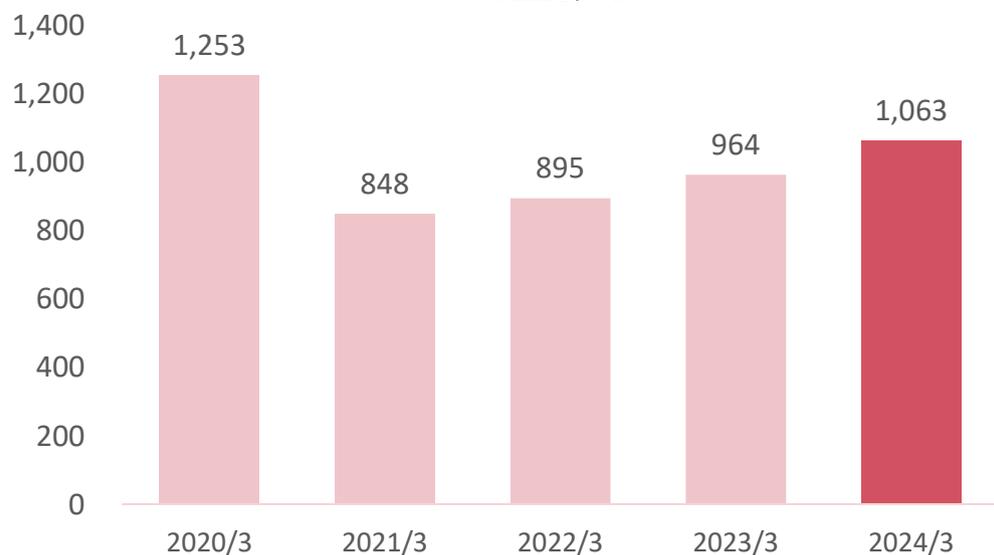
売上高推移



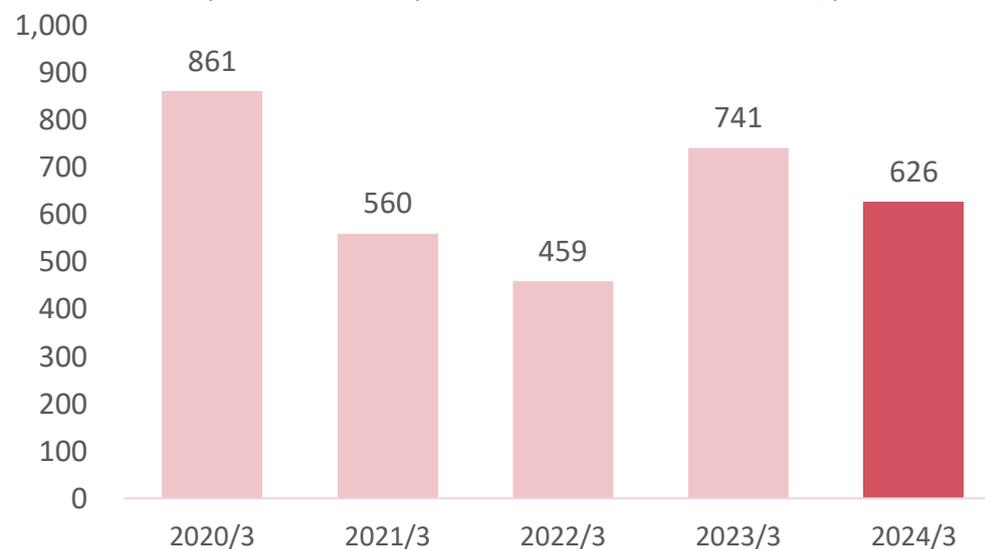
営業利益推移



経常利益推移



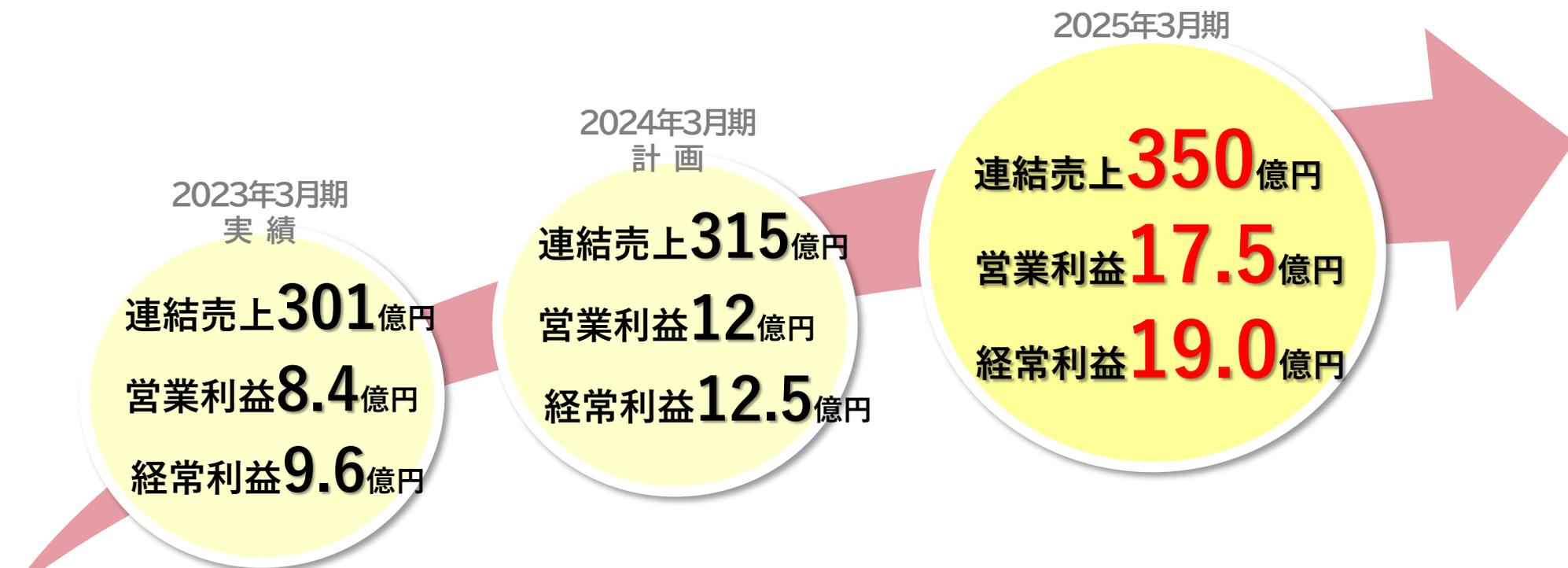
親会社株主に帰属する当期純利益推移



| | | 2020年3月 | 2021年3月 | 2022年3月 | 2023年3月 | 2024年3月 |
|--------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総資産額 | 百万円 | 30,868 | 29,881 | 32,133 | 31,586 | 35,772 |
| 純資産額 | 百万円 | 20,811 | 20,845 | 21,749 | 20,623 | 21,312 |
| 自己資本比率 | % | 67.4 | 69.8 | 67.7 | 65.3 | 59.6 |
| EPS (1株当たり利益) | | 66円83銭 | 82円57銭 | 53円67銭 | 72円60銭 | 60円98銭 |
| PER (株価収益率) | 倍 | 17.18 | 11.4 | 18.97 | 13.15 | 20.91 |
| 1株当たり配当金 (年間表示) | | 28円00銭 | 30円00銭 | 30円00銭 | 33円00銭 | 36円00銭 |
| PBR (株価純資産倍率) | 倍 | 0.58 | 0.47 | 0.49 | 0.47 | 0.62 |
| BPS (1株当たり純資産) | | 1,984円83銭 | 2,003円78銭 | 2,075円38銭 | 2,018円27銭 | 2,071円95銭 |
| ROE (株主資本利益率) | % | 3.39 | 4.13 | 2.58 | 3.60 | 3.00 |
| ROA (総資産純利益率) | % | 2.29 | 2.88 | 1.75 | 2.35 | 1.75 |
| 配当利回り | % | 2.44 | 3.19 | 2.95 | 3.46 | 2.82 |
| 配当性向 | % | 41.9 | 36.3 | 55.9 | 45.5 | 59.0 |
| DOE (株主資本配当率) | % | 1.42 | 1.50 | 1.44 | 1.64 | 1.77 |

4. 中期経営計画の進捗状況

| | |
|-------|--------------------------|
| 目指す姿 | 社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ |
| スローガン | 構造改革への挑戦 |



成長戦略

- サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大
 - デジタルトランスフォーメーションへの取組み
- 総合ビル管理元請け受託力の増強
 - 業務革新による収益向上
- 不動産ビジネス領域拡大
 - 賃貸不動産取得による収益拡大

■ 中期経営計画最終年度(2025年3月期)業績見込み

売上高:345億円(計画比▲5億円)・営業利益:13.5億円(計画比▲4億円)・経常利益:14.0億円(計画比▲5億円)

第12次中期経営計画 (2022年4月～2025年3月)

(目指す姿) 社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ

(スローガン) 構造改革への挑戦

環境変化をふまえた事業構造改革への挑戦/サステナビリティ経営の徹底

■警備事業内ポートフォリオの革新 ■ビル管理事業ウエイトの拡大 → 収益構造の改革

経済的価値 (財務・配当[最終年度 (2025年3月期)])

第12次中期経営計画

財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

| | |
|------|---------------------|
| 連結売上 | 350 億円 |
| 営業利益 | 17.5 億円 (営業利益率5.0%) |
| 経常利益 | 19.0 億円 (経常利益率5.5%) |
| 戦略投資 | 期間累計70 億円 (M&A・不動産) |
| 配当方針 | 配当性向50%を目途に安定配当 |

見込み

財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

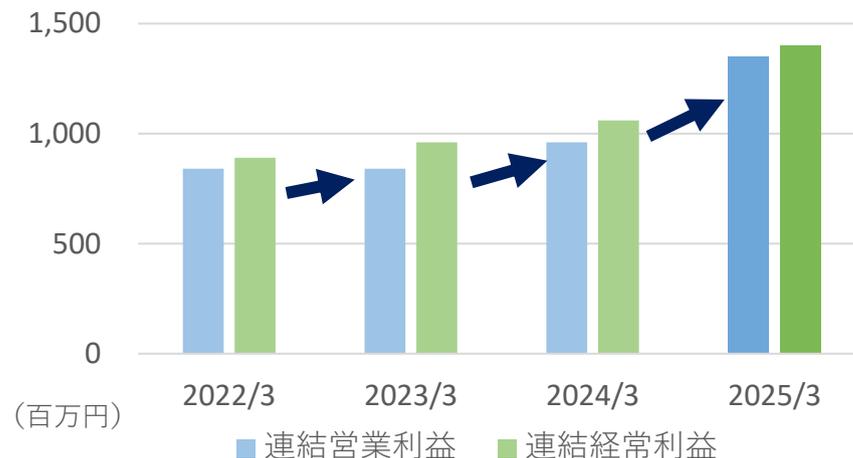
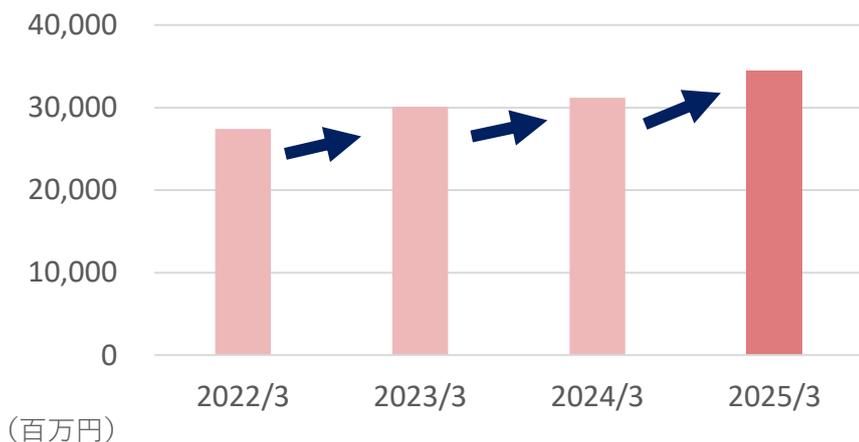
| | |
|------|---------------------|
| 連結売上 | 345 億円 |
| 営業利益 | 13.5 億円 (営業利益率3.9%) |
| 経常利益 | 14.0 億円 (経常利益率4.1%) |
| 戦略投資 | 期間累計70 億円 (M&A・不動産) |
| 配当方針 | 配当性向50%を目途に安定配当 |

成長戦略

社会的価値 (サステナビリティ経営の徹底)

- サステナビリティ活動の基本方針・マテリアリティに基づく取り組みを推進
- SDGs取組を進化させ脱炭素経営に取り組み (2030年度温室効果ガス排出量 2013年度比 ▲50%)

- 2025年3月期の業績見込みは、当初計画には未達となるが、増収増益基調は維持できる見通し。
- 警備会社のM&A実施や大阪・関西万博の警備の受注が決定する等、2026年3月期以降も増収増益基調は維持できる見込み。



- 増収増益基調は維持できており、配当性向のみならず、業績に左右されない安定配当の観点から、株主資本配当率(DOE)の要素も意識した配当政策を検討。



株主資本配当率(DOE)の要素も意識した配当政策を検討。今年度は **年間40円配当** を目指す。

5. 対応すべき課題と 今後の取組み

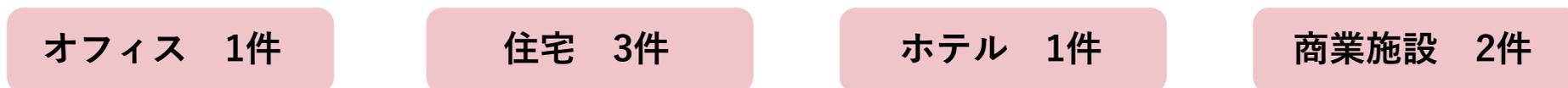
- M&Aを活用した主力事業の継続拡大による収益力の向上。
- 不動産投資拡大等の資産ポートフォリオの見直しによる収益率の向上。

| 第12次中期経営計画 戦略投資枠(M&A含む) | | | | | | |
|-------------------------|------|--------|------|--------|------|-----|
| 70億円 | | | | | | |
| 2022年度 | 投資実績 | 2023年度 | 投資実績 | 2024年度 | 投資実績 | 費消率 |
| | 12億円 | | 29億円 | | 26億円 | 97% |

- **M&A** 警備事業強化の為、警備会社3グループのM&Aを実施。



- 所有賃貸不動産 計7件



改善に向けた方針

- 1) ROE を重要指標として認識し、
①成長戦略の実行／②株主還元・資本政策の推進／③IR 活動の拡充により、
エクイティ・スプレッドを改善するとともに PBR の向上をはかる
- 2) 目指すべき ROE 水準 ⇒ 2027 年度末 **8%**水準

| | | |
|----------------------|------------------------|---|
| 成長戦略の 実行 | 既存事業の収益改善 | サービス品質の向上等により、適正な価格転嫁への取組み強化をはかる。 |
| | 積極的なM&A投資 | 現中計にも掲げているとおり、引続き戦略投資枠を設定し事業領域の拡大・新規事業への進出を推進する。 |
| | 資産ポートフォリオの見直しによる資本効率向上 | 保有有価証券の圧縮にあわせ、本業(警備・ビル管理)とのシナジーが見込める不動産投資を拡充し、資本効率の引上げをはかる。 |
| 株主還元・ 資本政策の 推進 | 配当政策の見直し | 業績連動(配当性向)に加え、株主資本配当率(DOE)要素も意識した配当政策を検討する。 |
| | 株主優待制度の導入 | 株主に対する日頃の支援の感謝とともに当社株式への投資魅力の向上をはかる。 |
| | 流通株式増加への取組み | 法人株主との交渉による流通株式拡大をはかる。 |
| IR活動の 拡充 | 個人投資家説明会開催 | 年2回の実施を継続し、投資者との対話の機会を設ける。 |
| | 経営情報開示の強化 | サステナビリティ活動等、非財務情報の開示の充実をはかる。 |

■ 当社を幹事会社とする共同企業体での警備業務の受注が決定。

- 発注元 ◆ 公社) 2025年日本国際博覧会協会
- 受注金額 ◆ 共同企業体全体で、10,819百万円
※受注金額に対する共同企業体の中での売上計上方法は調整中
- 契約期間 ◆ 2024年1月～2025年10月
- 受注業務 ◆
 - ①ゲート警備実施業務 5,950百万円
 - ②会場警備実施業務 4,869百万円

2024年2月「2025大阪・関西万博推進部」を新設し、組織体制強化。

| | | |
|------|--------|-------------------------|
| 開催概要 | 開催時期 | 2025年4月13日(日)～10月13日(月) |
| | テーマ | いのち輝く未来社会のデザイン |
| | 開催場所 | 大阪 夢洲 |
| | 開園時間 | 9時～22時(予定) |
| | 想定来場者数 | 約15万人/日(期間中 約2,820万人) |
| | 会場敷地面積 | 約155ha |
| | 想定警備員数 | 延べ人数34万人(1,850人/日を想定) |

警備保障タイムズ第393号 (2024.2.1発刊) 掲載記事

大阪・関西万博 落札結果を公表

「ゲート」「会場」警備は 東洋テックJV受注

2025年大阪・関西万博を運営する日本国際博覧会協会（万博協会・十倉雅和会長）は1月9日、警備業務の一般競争入札（11案件の結果を公表した。東洋テック（大阪市浪速区、池田博之代表取締役社長）が幹事会社を務める共同企業体（JV）、ALSOK（東京都港区、相木伊久二代表取締役社長）などがそれぞれの警備業務を落札した。【都築孝史】

ALSOKは「施設」「イベント」

「2025年日本国際博覧会ゲート警備共同企業体（幹事会社：東洋テック）は「ゲート警備実施業務」を59億5000万円で、会場警備共同企業体（幹事会社：同）は「会場警備実施業務」を48億6000万9284円で、それぞれ落札受注した。合計金額は108億1900万円で、業務の契約期間は2025年4月から10月まで。ALSOKは「施設警備」

| 案件名称 | 落札者 | JVの代表会社 | 入札金額 (円、税抜) |
|---------------------|--------------------------|---------|---------------|
| ゲート警備 | ゲート警備共同企業体 | 東洋テック | 5,950,000,000 |
| イベント警備 | ALSOK (総合警備保障) | | 992,404,703 |
| 会場警備 | 会場警備共同企業体 | 東洋テック | 4,869,329,284 |
| 施設警備 | ALSOK (総合警備保障) | | 3,950,000,000 |
| 夢洲交通ターミナル警備 | エムズジャパンセキュリティ | | 1,984,000,000 |
| 桜島交通ターミナル警備 | 日本管財 | | 1,213,000,000 |
| 夢洲身障者駐車場等警備 | 夢洲身障者駐車場警備共同企業体 | 新大阪警備 | 988,000,000 |
| 堺地区会場外駐車場等警備 | ブレイブアクトJV | ブレイブアクト | 880,000,000 |
| 舞洲地区会場外駐車場等警備 (その1) | 舞洲地区会場外駐車場 (その1) 警備共同企業体 | 伸和サービス | 822,000,000 |
| 舞洲地区会場外駐車場等警備 (その2) | テイケイ | | 491,106,000 |
| 尼崎地区会場外駐車場等警備 | ブレイブアクトJV | ブレイブアクト | 541,900,000 |

大阪・関西万博 警備業務11案件の入札結果

JVの代表企業は過去20年以内に国際的大規模イベントの警備で中心企業として

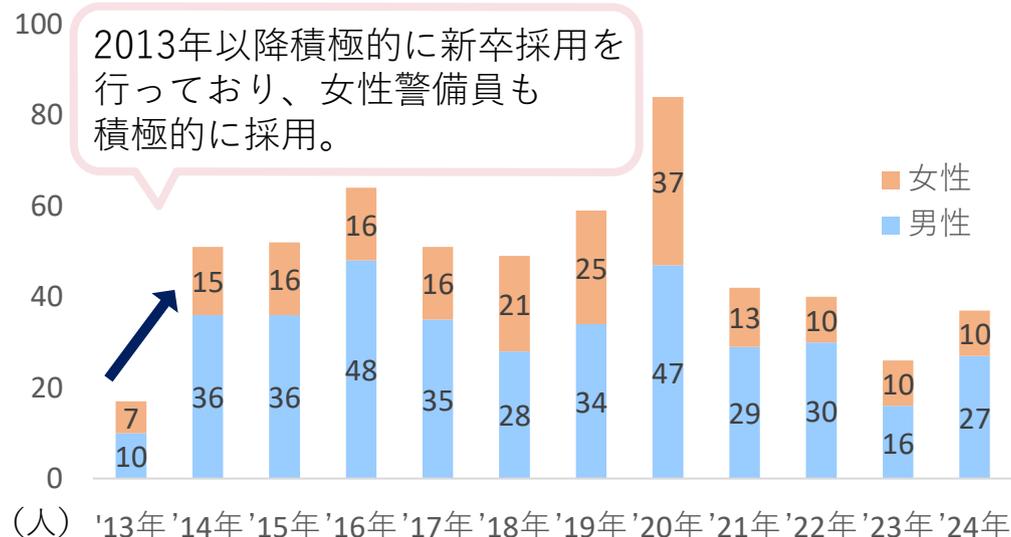
万博は、日本経済と大阪・関西の地域経済の活性化やビジネス機会の拡大により約2兆円の経済波及効果が見込まれるビッグイベントです。当社は、地域貢献、公共・公益に資するイベントへ積極的な貢献を果たすべく、大阪に本社を置く警備・ビル管理事業者として当社グループの総力をあげて取り組みますと述べている。

◇2025年大阪・関西万博 大阪市此花区の人工島・夢洲で開催予定の国際博覧会。開催期間は4月13日から10月13日の184日間、テーマは「いのち輝

採用活動の新たな取り組み

- リファラル採用制度の導入
⇒社員の親族や友人、知人に求人情報を届け応募を促す
- アルムナイ採用制度の導入
⇒退職者を再雇用する採用制度
- 人材紹介の活用
- ダイレクトリクルーティングの活用
⇒企業が直接求職者へアプローチをする採用手法

新卒採用人数の推移



離職防止

- メンター制度
 - 若手交流会
- 等による若年層離職防止

2023年度入社フォローアップ研修



2024年度入社 宿泊研修



人的資本に関する取り組み

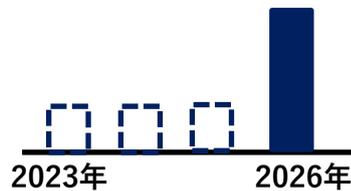
■ エンゲージメント向上施策

育児休暇制度等の充実

男女向け育児休業マニュアル等の策定。

従業員向け株式給付制度

創業60周年に向け、全従業員に株式を給付。



創業60周年に
株式給付

エンゲージメントサーベイ（実施中）

従業員の帰属意識向上、離職防止の為、実施。

東洋テックグループオリジナルコンサート



取引先である「ザ・シンフォニーホール」にて開催。総勢約1,000名が参加。

健康経営

健康経営優良法人2024
（大規模法人部門）に認定。
健康経営優良法人の認定は
6年連続。



女性活躍推進

仕事と育児の両立支援等を積極的に行っていることが大阪市より認められ2017年に大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」に認定。2023年11月 継続認証。



三つ星認証企業

イクメン推進企業

■人材育成

多種多様な研修

業務別研修

機械/貴重品運搬/施設/雑踏 等

階層別研修

管理職/中堅社員/若手社員 等

女性活躍研修

設備研修(ビル管理)

英語研修

警備訓練

営業研修

等

TECグループS1グランプリ (2023年4月22日開催)

各業務のスキルNo.1を決める実技大会。105名が参加。



常駐警備部門



機械警備部門

地域の技術競技会での表彰



浪速自衛消防技術競技会にて
最優秀賞を受賞。

振込め詐欺未然防止案件



還付金詐欺を未然防止し
警察より感謝状授与。



人・街・未来をまもる
東洋テックグループ



記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社